



昭和大学江東豊洲病院だより

2021年8月号

第88号

巻頭言

一般救急外科・形成外科

講師 / さとう のぶひろ
佐藤 伸弘



みなさま、初めまして。2021年4月より一般救急外科・形成外科へ赴任させていただきました、佐藤 伸弘と申します。

形成外科は身体の変形や欠損を、整容的（見た目）にも機能的にも改善することを目的とする専門の外科診療科です。

頭部から手足に至るまで体表の異常を中心に診療を行なっております。具体的には顔や手足の先天異常、腫瘍、顔面の骨折、手足・顔面の外傷、やけど、傷跡の修正などが対象となります。

私ども形成外科医は、手術において多くの場面で手術用顕微鏡を用いた血管吻合や、神経吻合技術を適応し、お身体への負担を軽減するように対応しております。

現在当院では特に「乳房再建」、「眼瞼下垂」（瞼が下がって見づらい）に力を入れております。乳房再建は選択肢が非常に多く、インプラントによる再建だけでなく、広背筋皮弁法（背中の組織で胸を作る）、深下腹壁動脈穿通枝皮弁法（お腹の組織で胸を作る）に加えて、自家脂肪注入法（お腹や太ももの脂肪で胸を作る）による再建などが検討できます。

また、がん予防医療として2020年より遺伝性乳癌卵巣癌症候群と診断された方の、乳がんとその対側の予防乳房切除術に対する乳房再建が保険適応となっており、乳腺外科の先生方と共同して手術対応を行っております。

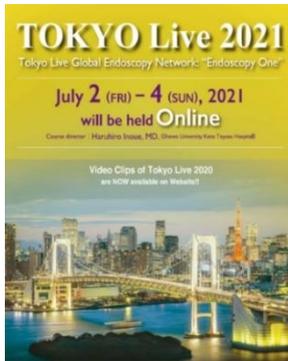
自費診療となりますが「美容外科」にも対応しておりますので、気になることがありましたら、一度当科を受診していただければと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。



第88号のトピックス

- 巻頭言（一般救急外科・形成外科）
- 東京国際内視鏡ライブセミナー
TOKYO LIVE 2021 Endoscopy One
- Web講演会
- 専門外来開始のお知らせ
- セミナー開催報告
- 編集後記

東京国際内視鏡ライブセミナー TOKYO LIVE 2021 Endoscopy One



消化器センター(内科) 助教 / としもり あきこ 年森 明子

2021年7月2日から4日の3日間、当院消化器センターは、東京国際内視鏡ライブセミナーTOKYO LIVE 2021 Endoscopy Oneを開催しました。内視鏡関連のメディカルスタッフ(医師・看護師・技師など)を対象とした、消化器内視鏡領域における世界最大級のセミナーで、国内外の消化器内視鏡診療の普及・レベルアップの一翼を担っています。

2016年からスタートし、以前は、当院の院内で、実際に来院いただいた世界的な内視鏡医が治療を行う様子を、受講者が別室で聴講していました(ライブデモ形式)。コロナ禍において、昨年からは、病院内での開催ではなく、完全 Web 開催へ移行し、講師・受講者ともに世界各国からビデオ参加する形となりました。本年度は欧米を中心に100名以上の講師をお迎えし、全世界から12,000件を超えるアクセスがありました。

内視鏡は、外科の手術と同じように、医師が手を動かして行うので、技術・知識の向上のためには、実際の治療を間近で見て学び経験を積むことが不可欠です。従来、エキスパートの手術を見学できる機会は多くなかったため、本セミナーのようなデモ形式での講習会が行われるようになり、スキルアップを目指す医師にとって非常に貴重な機会となっています。

当センターの井上晴洋センター長・教授(日本消化器内視鏡学会理事長)は消化器外科医でもありますが、消化器内視鏡領域の世界的なトップランナーで、国内外のライブセミナーでも毎年多数の講演を行っています。井上医師を筆頭に、当センターの医師も、このようなセミナーで講演をしたり、参加して勉強したり、日々研鑽を積んでいます。

今後も、患者さんへ還元できるように尽力してまいります。

(添付画像) ★プログラムより一部抜粋

★当センターの医師も英語で講演を行いました

1. Live Demo: Endoscopic Submucosal Dissection Case 1
 Moderator: Stefan Seewald
 Mini-presentation: Endoscopic closure by Loop II method
 Akiko Tashiro
 Operator: Haruhiko Inoue

2. Live Demo: Endoscopic Submucosal Dissection Case 2
 Moderator: Kazuki Sumiyama, Lawrence Ho
 Mini-presentation: Endoscopic closure by Wireloop method
 Mai Fukuda
 Operator: Haruhiko Inoue

3. Live Demo: Peroral endoscopic myotomy Case 1
 Moderator: Marcel Taniu
 Mini-presentation: POEM after Heller-Gar
 Yusuke Fujiyoshi
 Operator: Haruhiko Inoue

4. Live Demo: Gastric POEM
 Moderator: Lawrence Ho
 Mini-presentation: G-POEM for gastroparesis
 Rina Fujiyoshi
 Operator: Haruhiko Inoue

Live Demo: Peroral endoscopic tumor resection for esophageal submucosal tumor
 Moderator: Haruhiko Inoue, Joo Young Cho
 Operator: Philip Chu
 Lecture: Current status of POEM/STER: its concept, outcomes, and limitations
 Manabu Onimaru

Approach to GERD and functional upper GI disorders
 Moderator: Mitsuru Kaito
 Speaker: A novel approach in the diagnosis of GERD: Endoscopic pressure integrated system (EPIS)
 Yuta Shimamura
 Shomach Katsuhiko Iseki

Endoscopic full thickness resection in lower GI
 Moderator: Gregory Haber, Haruhiko Inoue
 Speaker: Long II
 Mayo Tanabe
 Endoscopic full thickness colonic resections and fully endoscopic appendectomy: where is the limit?
 Sergio Kamberov

POEM 1: West meets East -The POEM Training Program-
 Moderator: Hironori Shiwaku, Rina Fujiyoshi
 Speaker: Guide for Hands-on Training POEM in Japan
 Yusuke Fujiyoshi
 POEM Fellowship: What to expect (By experience)
 Bianca Maria Quarta Colosso
 How to introduce POEM in your institution and the importance of international fellowships to do collaborative research
 Enrique Rodriguez de Santiago
 Putting theory into practice: How to maximize POEM efficacy while avoiding overtreatment
 Anastasiya Mendelina
 Commentator: Haruhiko Inoue

POEM 3: How to prevent post-POEM GERD
 Moderator: Haruhiko Inoue
 Speaker: Post-POEM GERD: current definitions and pathogenesis
 Robert Bechara
 Endoscopic techniques to minimize post-POEM GERD
 Yuta Shimamura
 Treatment options for post-POEM GERD
 Kevin Grimes



昭和大学江東豊洲病院の各診療科の取り組みを動画で公開しています。
ご興味のある方は、お手持ちの携帯で QR コードを読み取りください。



<今月のテーマ>

「慢性腎臓病診療における医療連携について」

腎臓内科 講師 / 松本 啓



※この動画は医療者向けで作成されているため、医療専門用語や、傷や部位など医療処置が動画で流れるものがあります。

来月の動画もお楽しみに！

専門外来開始のお知らせ

骨折が治らずお困りの患者さん



骨折が治らない状態を「難治骨折」と呼びます、「難治骨折」の治療には専門的な知識が求められ、通常の骨折治療の経験が豊富な医師でも対応が難しい場合も多くあります。しかし、当院ではこれまでに数多くの難治骨折の治療に携わっていますので、骨折が治らずお困りの方はお気軽にご受診ください。



李 相亮 医師

【対象となる症状や疾患】

「偽関節」、「遷延治癒」、「感染性偽関節」など

〔全骨折のうち約5%は、治療をしたにもかかわらず治らないと報告されています。骨折は通常、受傷してから3ヶ月～半年位までに骨がくっついて治ります。〕

難治骨折外来

外来日：毎週水曜日 午前

はじめました。

七夕イベント開催報告



1階ロビー

7月1日～7日まで笹飾りを設置しました。患者さんやご家族からの短冊が飾られ、華やかな笹飾りとなりました。



こどもセンター

7月6日に七夕のお楽しみ会を行いました。例年と違いプレイルームでは行わず、各部屋にいる子どもたちのもとへ一人ずつ遊びにまわりました。七夕製作のシール貼りや、笹飾りを作り楽しみました。また、先生が手品を行ってくれました。



編
集
後
記

ナス、ピーマン、キュウリ、トマトなど夏野菜がスーパーの野菜コーナーに色彩鮮やかに並ぶ季節になりました。ハウス栽培や輸入によって様々な野菜を一年中食べる事のできる昨今ですが、食材は旬の時期に食べるのが最も栄養価が高く、身体には良いそうです。暑い季節には身体の体温を下げたり水分を補給できるような野菜を自然と摂れるようになっているのでしょう。意外なところでカボチャも夏野菜です。「冬至」に食べる印象が強いですが、これは夏・秋に収穫したものを保存し、一番太陽の光が弱まる日に縁起担ぎに食するようになった風習です。今年の夏は太陽の光をいっぱい浴びた栄養価が高く免疫力アップにもよい夏野菜を食べて元気に夏を乗り切りたいです。

せいりきのうけんさしつ こばやし ちかこ
生理機能検査室 小林 睦子



昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：笠間 毅 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ